

記載例

別 記

第2号様式（第4条、第5条及び第7条関係）

犯罪被害申告書

年 月 日

鎌ヶ谷市長 様

（申告者）

住 所
氏 名

被害者本人の氏名等を記載
（代理人申請の場合も同様）

1 被害の概要

ふりがな	はつとみ なしこ	
被害者の氏名	初富 梨子	
被害者の生年月日	昭和40年 1月 1日	
被害者の住所	鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷2-6-1	
被害の発生日時	令和〇年△月××日 午前・午後1時00分頃	
被害の発生を知った日	令和〇年×月△△日	
被害発生場所	例：自宅付近、鎌ヶ谷市役所付近など	
犯罪被害にかかる罪名 （判明している場合）	〇〇罪（警察からの説明等で判明している場合のみ 記載してください。）	
犯罪被害の概要	どのような被害があったのか分かるように 簡潔に記載してください。	
取扱警察署及び被害届 受理番号等	都道府県名	
	警察署名	
	受理日	年 月 日
	受理番号	

被害届を見ながら
記載してください

1～3をよく読み、それぞれのチェックボックスにチェックを入れる

2 支給除外事由の確認

下記のとおり、支給除外事由に該当しないことを全て確認しました。

- ☐ 1 犯罪行為が行われた時において、被害者等と加害者との間に次のいずれかに該当する関係がない。
- (1) 夫婦（婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にあった場合を含む。）
 - (2) 直系血族（親子については、縁組の届出をしていないが、事実上養子縁組関係と同様の事情にあった場合を含む。）
 - (3) 3親等内の親族
 - (4) 同居の親族
- ☐ 2 犯罪行為による被害について、被害者等に次のいずれかに該当する行為がない。
- (1) 当該犯罪行為を教唆し、又は幫助する行為
 - (2) 過度の暴行又は脅迫、重大な侮辱等当該犯罪行為を誘発する行為
 - (3) 当該犯罪行為に関連する著しく不正な行為
- ☐ 3 被害者等に次のいずれかに該当する事由がない。
- (1) 当該犯罪行為を容認していたこと。
 - (2) 当該犯罪行為に対する報復として、加害者又はその親族その他の加害者と密接な関係にある者の生命を害し、又は身体に重大な害を加えたこと。
 - (3) 暴力団員等又は暴力団若しくは暴力団員等と密接な関係を有する者

※傷害見舞金の場合は、被害者本人のみ

3 情報提供の同意

見舞金の支給及び転居費用の助成に必要な警察その他の関係機関が保有する犯罪行為による被害に関する事項について、鎌ケ谷市が照会し、提供を受けることへの同意

☐ 同意します ☐ 同意しません